

<b>科目名</b>	流通戦略論	<b>科目コード</b>	1507	<b>単位数</b>	3
<b>担当者名</b>	田村 亨	<b>開講semester</b>	第5semester	<b>開講年次</b>	3年次
<b>授業の方法</b>	講義	<b>実務経験</b>	無		

● **授業のねらい**

生産物が消費者の手に渡るためには、生産と消費を結びつける流通機能が必要である。企業の流通への対応がマ - ケティング戦略や企業活動全般に大きな影響を与えるため、流通戦略の立案と実施は重要である。本講義では、小売業の成長と業態の形成、商業空間の形成と発展のメカニズム、ロジスティクスなど支援サービス施設の配置、流通システムの国際比較という枠組みで体系的に流通戦略を理解する。また、都市計画との関係から商業立地と施設配置に関わる課題を解いて、流通戦略の実践的な課題解決能力を身に着ける。

● **到達目標**

- ・小売業の多様な業態について、その成り立ちと発展方向を理解して、用語を的確に使えるようになる
- ・商業立地と施設配置に関わる実践的な課題を解決できるようになる
- ・グローバル流通と東アジアの商業空間に関わる基礎知識を身に付けて、用語を的確に使えるようになる
- ・以上をとおして、習得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決できるようになる

● **授業内容**

- 1週目 流通のしくみ
- 2週目 需給結合プロセス
- 3週目 商業の存立基盤
- 4週目 流通の役割
- 5週目 小売業の成長と業態の形成：百貨店と総合スーパー
- 6週目 小売業の成長と業態の形成：食品スーパーとコンビニエンス・ストア
- 7週目 小売業の成長と業態の形成：ディスカウントストアとSPA
- 8週目 商業空間の形成と発展のメカニズム：商店街とショッピングモール
- 9週目 流通構造とは何か
- 10週目 小売りの業態
- 11週目 日本型取引慣行
- 12週目 これからの生産と流通の関係
- 13週目 空間計画（立地と施設配置に関する演習）
- 14週目 施設計画（立地と施設配置に関する演習）
- 15週目 利用者の動線計画（立地と施設配置に関する演習）
- 16週目 流通戦略について + 試験

● **準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業は、「講義」と「ケース・ディスカッション」から構成され、与えられた課題について討論するため予習が必要となる。（予習）講義の中で次回講義のキーワードを示すので、インターネットを用いて調べてくる（90分）。（復習）講義の理解が不十分な箇所を明確にして、次回講義で質問できるように自分の考えと質問をノートにまとめる（30分程度）。

● **成績評価の方法・基準**

ケース・ディスカッションと小テスト（40%）、期末試験（60%）で評価する

● **履修上の留意点**

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる。第1週から第12週の授業では各回に小テストを実施するとともに、第13週から第15週の演習ではレポートの提出を課す。

● **課題に対するフィードバックの方法**

毎回、講義の中で小テストを実施し、その講評をその授業の終わりに口頭でコメントする

● **テキスト**

講義時に資料を配布する

● **参考書**

苦瀬博仁著『ロジスティクスの歴史物語』（白桃書房） 2016年 1852円

● **更新日付**

2022/01/19 10:59